

令和2年度(令和元年度実施事業分)事務事業評価評価票

No. 28-013

PDCA	事務事業名	乙川交流センターニコパル 管理運営事業	部課等名	教育部 生涯学習課 施設担当	担当 内線等	熊平 三 23-7331		
P 総合計画との関係性等	政策体系	章： 第5章 育ち合い共生を進めるまち						
		節： 第2節 生涯学習の推進						
		基本施策： 1. 生涯学習						
		単位施策： (2) 生涯学習支援のしくみづくり						
根拠法令等	乙川交流センターニコパル条例、乙川交流センターニコパル条例施行規則							
対象・目的	地域住民の生涯学習の活動拠点及び住民相互の交流の場として、乙川交流センターニコパルを適切に管理運営する。							
目的を達成するための手段・活動内容	市報・HP等でのPRにより当施設の魅力を発信し、市民への認知度を高める。併せて、自治区長へ情報発信し、地域活動の場としての活用を促進する。							
D 前年度の活動結果と見られた成果	活動結果	活動実績	29年度	30年度	元年度	単位		
		①乙川交流センターニコパル利用者数	7,462	18,973	21,291	人		
		事業費	2,675	4,099	3,760	千円		
		人件費	1,586	1,249	1,242	千円		
		総事業費	4,261	5,348	5,002	千円		
		活動単位当たりのコスト	29年度	30年度	元年度	単位		
		①ニコパル利用者1人あたりの管理運営コスト	571	281	235	円/人		
	成果	成果指標	29年度	30年度	元年度	単位		
		①多目的ホール稼働率	実績値	41.0	49.0	47.0	%	
			目標値	40.0	45.0	50.0		
			実績値					
			目標値					
			実績値					
目標値								
C 課題の整理	観点別評価	必要性	有効性		効率性			
		①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献	中程度	⑦コスト削減余地	ない	
		②市民ニーズ	高い	⑤成果向上の余地	ある	※対象・手段の変更		
	事業の評価・課題	③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ある	⑧受益者負担適正化余地	ない	
		B						
		新型コロナウイルス感染拡大防止のため、3月4日から臨時休業をしたが、利用者数は昨年度を上回ることができた。また、多目的ホールの稼働率が47%となり、昨年度と比較して2%の減少にとどまった。今後も、継続して利用者数が増加するように適切な管理運営に努める。						
		A 課題解決のための目標	今後の事業の方向性	改善推進 本年度も地域住民の生涯学習の活動拠点及び住民相互の交流の場とするため、引き続き乙川スポーツクラブと地元区長会と連携した共催事業を行うことにより、市民の利用の促進を図る。また施設利用者が安全、快適に利用できるように管理運営に努める。				
			令和2年度の目標	成果指標			目標値	単位
				①多目的ホール稼働率			50.0	%